

あの日あの頃 - 2

創立のころ

鈴木和子

一・二年だけの学校でありながら行事はすこぶる活発で、それは一通り以上に及びました。アンジョリーナ校長様は、無為に時を過ごすのを好まれないので女子の間に編物がはやったりしたこともあり、沢山の作品が展覧会を賑わせました。

展覧会といえば・私の頭にやきついているのは、現在の校長様のクラスの切り絵作品「かぐや姫」です。常に子供の能力の最大限を引き出さずにおかないご指導ぶりの片鱗だったのでしょう。一期生が第三学年になった年(昭和三十一年)は、星美が外界に向って花開いた感じでレリーフ展や歌劇の「ピノキオ」がデパートを会場に開催されたものです。

話はかわって、三年程前のこと、五十二年に開校したばかりという小学校を訪れたことがありました。私は常に本校と比べて拝見していたのですが、先生方の帰宅時刻が常に八時・九時であるということには驚かされました。用務員の仕事も自分達で分担するから、その分を教育費にまわしてほしいと校長先生に進言されたと聞きました。シスターに負ぶさっていた私など冷や汗の出る思いがしました。たまに、昔のシスター方にお会いして、何気なく当時の苦労話などうかがうと、ドキッとしてしてしまう私です。

ところで、第一期の会長さんの樋泉さんは、昔から頭が切れユーモアの持ち主でしたから、きつといい運営をして下さることでしょう。すでに三月には、卒業生を前に話をされました。

これからは、この会報で大勢の方が、楽しい話・珍しい話をきかせて下さることを楽しみにしています。

皆様の幸せと学園の発展を祈っております。

【同窓会報、第2号・昭和58年7月2日発行・から転載】